

まち活 10 つうしん

ねりままちづくりセンター

取材 / 2009年11月30日

—自然環境ねりまぐらぶの『練馬の「こぶし」探し隊』は、今年で活動2年目。広～い練馬区には、『探し隊』の知らない「こぶし」の木がまだまだたくさんあるようです。今回は、案内人・佐藤勝彦さんと一緒に、学校、幼稚園、憩いの森まで、まだ見ぬ「こぶし」との出会いを求めて、三原台地区周辺を歩きます。「あっ、ここにもこぶしの木が！」そう思ったなら是非、『練馬の「こぶし」探し隊』にご一報を。

練馬の「こぶし」もっと探し隊!!

寒くなり始めた11月の末日、「こぶし」観察会に自然環境ねりまぐらぶのメンバーが集まりました。「こぶし」と言えば、真っ白な花や赤いゴツゴツした実が魅力…というイメージですが、この時期の「こぶし」にはどんな見所があるのか、どんな「こぶし」に出会えるのか、案内人・佐藤勝彦さんを先頭にワクワクしながら「こぶし」スポット

に向かいます。

冬のこぶしのイトコロ

まず訪れた石神井幼稚園では、「こぶし」の大木がお出迎えしてくれました。葉っぱもすっかり落ちていますが、よく見ると、枝の先々に筆の先のようなつぼみが。さらによーく見ると、つぼみはフサフサのうぶ毛に包まれ、可愛

▼木の太さを測ります。「これは1m92cm」





「こぶし」を見せてください

らしい姿。小さな芽が葉芽、大きな芽が花芽です。葉芽と花芽の数を観察していると、来年どのくらいの葉が付き、花が咲くのかイメージが浮かびます。石神井幼稚園の園庭には、「こぶし」以外にもたくさんの木が植えられており、訪れた日は、ちょうど秋咲きの桜がきれいに咲いていました。

住宅街を通り、庭木として植えられている「こぶし」も見ながら、泉新小学校へ。狭い体育館裏の通路も果敢に進み、観察を行います。その後に訪れた、鴨下邸の「こぶし」は、樹齢が60年以上の立派な大木。「花が咲く頃にもう一度見に来たいね!」と、一同魅せられてしまいました。幼稚園や小学

▶芽のフサフサうぶ毛は防寒や虫よけになり、3月になると脱げてしまいます。

校、個人のお宅でも、地元精通した佐藤さんが「ちょっと「こぶし」を見せてもらえますか」と一声かけると、皆さん快く招き入れて下さいます。みどりを通じた地域の方々とつながりが生まれているのでしょうか。

こんな魅力もあります

三原緑地の「こぶし」はつぼみの数は少ないけれど、樹形が見事。たまごのような丸みのある樹形も、「こぶし」の魅力。葉や花がない時期のほうが、樹形ははっきりと観察できるようです。



▲こぶしの芽(上) こぶしの花(左下) こぶしの実(右下)

団体さん、今日を振り返る。 活動メンバー松岡さんのお話

ホントに、この日は寒かったのですが、「こぶし」を探しながら三原台周辺のまち歩きもできて、楽しかったです。大木になる「こぶし」が、個人宅のお庭に静かに佇んでいるだけで、とても感激しました。落ち葉や剪定など、持ち主さんはさぞ大変だろうと思いますが、数十年以上も大事にされていることに頭が下がる思いです。初対面の私などにも親しく話をしていただいて、この地域の方たちの温かさを感じた「こぶし」探し隊!! でした。まだ見ぬ「こぶし」との出逢いに期待しつつ、これから春に向かって、まだまだ探しづつめます!!



今回の参加メンバー。「こぶし」の大木とパチリ!



私も探し隊!!

現在、立教セカンドステージ大学に通っている横田 紀代子さんは、卒業論文のテーマを考えている最中に、ねりまくらぶの「こぶし」の発表を聞いたとのこと。「このような活動が、練馬区内にあることも初めて知りましたし、区の木である「こぶし」が実際に区民の人から注目されていることに感心しました。急速それまで考えていたものを変更して、「こぶし」をテーマに決めたいです。」と、横田さん。ねりまくらぶでの観察会だけでなく、夏の間は自宅近くの石神井周辺を中心に、自主的に「こぶし」を見て回ったそうです。ねりまくらぶの活動とのつながりがどんな風にあるのか、論文の完成が楽しみです。



最後に、田中山憩いの森で「こぶし」を含めた様々な樹木を観察しました。

「こぶし」と一言に言っても一本一本に個性があります。そして、見方を変えると四季を通して様々な魅力に気づくことが出来るのです。皆さんの近くには、どんな「こぶし」がありますか?

活動団体基本データ

設立

2004年9月

活動テーマ

市民・事業者・行政が協働し、練馬区を中心に、水・緑・土・大気・生物などの自然環境の保全、育成、復元をしていながら、市民が自然に親しみ、生態系との豊かな共生関係を作っていく。

活動実績

- ・年遊遊スクール/川と水辺のプロジェクト/川博見学会など(2006)
- ・小さなアイデア募集など(2007)
- ・環境行動講演会企画など(2008)

団体連絡先

tamaniwane@mail.goo.ne.jp

団体拠点案内

活動場所
練馬区全域



練馬まちづくりセンター

発行日 2010年3月8日
取材/編集 練馬まちづくりセンター
デザイン 濱祐斗 山口真生
発行元 (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター
練馬区豊北5-29-9 練馬センタービル 3階
Tel 03-3993-5451 Fax 03-3993-8070
Email machi@nerimachi.jp Web http://nerimachi.jp

練馬まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

これからの展望

みんなに 身近な「こぶし」へ

環境フェアでのアンケートで、来場者のみなさんから情報提供していただいた「こぶし」のある場所を巡ってみようと呼んでいます。そして、これまでの活動とあわせて、練馬区内の「こぶし」の場所を地図に示した『こぶしマップ』をつくり、区民のみなさんにとってより「こぶし」が身近な存在として、関心をもってもらえたらと考えています。

今後こんなグループとつながりたい!

こぶし広場管理委員会/樹木の専門家/校内にこぶしのある学校/児童館

活動メンバー紹介

松岡 直子 さん



代表の松岡さんは、観察会の進行を陰で支える一方で、「こぶし」の所有者の方の話を丁寧に聞き、細部の写真を取り、熱心な眼差しで、観察をしていました。

佐藤 勝彦 さん



「こぶし」知識や裏話はもちろん、地域のこと、練馬のみどりのこと、日本全国・海外の旅の話まで、話し上手の佐藤さんからは、様々な話題が飛び出します。

他にもたくさんの方がいらっしゃいます!
是非活動をのぞいてみてくださいね。

練馬まちづくりセンターは“まちづくり活動助成事業”で、自然環境ねりまくらぶを応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的としています。



【はばたき部門】助成金額30万円以内
身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動への助成



【テーマ部門】助成金額1年目10万円以内 2年目50万円以内
身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創り出す活動への助成



【たまご部門】助成金額3万円以内(年中受付しています)
上記2つの部門の様なまちづくり活動を始める、きっかけづくりや学習会などを開催するための助成